

お母さん、自由は罪ですか？

ある宗教二世が残した一通の遺書。そこには、宗教虐待の実態、そして当たり前な自由を求めながらも、親への捨てきれぬ愛ゆえに苦しんだ少女の痛みが、どこまでも繊細に鮮明に残されていた。

その遺書に感化され、監督の平田うらが宗教虐待の実態を取材。宗教二世、三世数百名の協力の元、初監督ながら完成させた。

主演は、新興宗教で洗脳された経験をもつ監督自身。W主演はオーディションで抜擢された安藤奈々子。自身の年齢より一回りも年の離れた母役を好演した。また本作の音響監修を担当するのは、映画『aramaki』『Shikasha』（平林勇監督作品）でベルリン国際映画祭、カンヌ国際映画祭にノミネートされた飯嶋慶太郎。

親に誕生日を喜んでもらうこと、辛い時に抱きしめてもらうこと。そして『ゆるされること』。そんな当たり前を最期まで求めたすすの叫びが、あなたの心を打つ。

新興宗教で洗脳された過去をもつ監督が、
宗教虐待に切り込んだ衝撃作。



Story

「光の塔」の信者である母・恵(安藤奈々子)から厳しい宗教教育を受けてきたすす(平田うら)は、教えに反することをすると鞭で打たれるなど虐待を受けてきた。

ある日、すすは学校で献金袋を盗まれ、お金を借りるために祖母の紀子(中村ひろみ)に会いに行く。

そこで虐待の事実を知った紀子と祖父の勝男(大月伸昭)はすすを匿い、3人の細やかで幸せな生活が始まる。

すすは、紀子と勝男から愛されて暮らすことで、「世の人はサタンにそめられている」という教えを疑い始める。

しかし教えに疑問をもてば、サタンに堕ちる。それは、すすにとって、母との永遠の決別を意味していた。

一方で、すすは紀子や勝男の話を通して入信する前の母の姿を知る。優しかった母はなぜ変わってしまったのか。恵の知られざる姿を知るうちに、辛くも衝撃的な真実が浮かび上がる。

恵が自由を手放してまで求めた「ゆるし」とは。

恵の人生を狂わせた、人の心の奥底に眠る弱さに触れた時、2人の運命が絡みだし、事態はとんでもない方向へと進みだす。

公式アカウント



@eiga_yurushi

3/22(金)～3/29(金) 公開

X公式アカウントにて前売り券発売中！

¥1,500円(税込)
※特製スマホ壁紙プレゼント

JR吉祥寺駅北口、吉祥寺バルコ地下2階

UPLINK 吉祥寺

0422-66-5042 <https://joji.uplink.co.jp/>

また生まれ変わっても
お母さんのもとに生まれたい

ゆるし

これはある宗教二世が残した
遺書からできた物語

by 平田うらら

脚本・監督 平田うらら

出演

平田うらら 安藤奈々子

中村ひろみ 唐芋 大月伸昭 青山心夏

成田マイケル 理希 山本浩貴 進藤沙也佳 川瀬知佐子 目黒陽都 七波菜々子

エグゼクティブプロデューサー: 片淵昭彦 制作: 『ゆるし』制作委員会

撮影: 宮原廣一郎 照明: 長濱光玲 録音: 鴨志田知花 美術: 齊藤野乃 助監督: 石田陸 ヘアメイク: 廣滝華保 編集: 渡部昭葉 音響監修: 飯嶋慶太郎